

EA934DF-6A仕様（鉄補修パテ）

金属補修・再生

◆ 特長

- 酸化アルミニウム粉を含有し、自己潤滑性を有するので、特に摺動摩擦に効果がある。
- 電気や熱の不良導体で金属粉含有タイプよりも絶縁性が優れている。
- 鉱物油、ガソリン、海水、アルカリに対して優秀な耐性を有し、他の多くの薬品にも耐性を有する。
- 金属全般、木材、コンクリート、石材に対し接着力が強い
- 主剤、硬化剤は長期の保存が可能
- パテ埋め、肉盛りが可能なパテタイプ

◆ 主な用途

- タンク、ホッパー、ポンプケーシングの耐摩耗補修
 - 各種接着用途
 - 機械部品やレール等の耐摩耗補修
- * 主な適用金属：金属全般
容量：500g

◆ 組成：アルミナ粉 80%+エポキシ 20%

◆ 1セット当たりの容積 249cm³/0.45kg

◆ 混合比率 重量比 9：1
(主剤：硬化剤) 容積比 4：1

◆ 1mm厚の塗布面積 2493cm²/0.45kg

用途	タイプ	カラー	可使用時間	塗膜硬化時間	耐熱温度	外観(25℃)
金属全般、木材、コンクリート、石材	アルミナ粉タイプ	濃灰色	50分/25℃	16時間 (1~6mm厚)	120℃	パテ

◆ 物理的特性

比重	圧縮強さ (Mpa)	引張り強さ (Mpa)	縦弾性係数 (Mpa)	曲げ強さ (Mpa)	引張りせん断接着強さ	硬さ (ショア-D)
1.8	59~74	25~34	5,198	39~49	15~19	88
線膨張係数 (cm/cm/℃)	熱伝導率 (W/m/k)	収縮率 (%)	耐熱温度 (℃)	誘電率	絶縁破壊強さ (KV/mm)	
58X10 ⁻⁶	0.70	0.05	120	6.3	15.8	

* 上記数値は参考値として記載したものであり、保証値ではありません。

* 可使用時間 主剤と硬化剤を混合してから使い切るまでの時間のこと。

① 接着面の準備

1. サンドペーパーやサンドブラストで錆を除去します。
2. アセトン、MEKなどの溶剤で脱脂します。
3. 完全に乾燥させます。

② 混合・かくはん

1. 主剤と硬化剤とをできるだけ正確に計量します。
2. 容器のすみまで、混ぜ残しのないように充分かくはんして下さい。

③ 塗布

- ◎ パテナイフなどで塗り付けます。(垂直面に塗っても垂れない)
- ◎ 16℃以下の場合、完全に硬化しないこともあるので、作業箇所の温度にご注意下さい。
- ◎ 硬化を早めるには、赤外線ランプなどで 50℃位に加熱するとよいです。

④ 応用

- ◎ ポンプやタンクの修理(大きな穴や亀裂の場合)
金網、針金、ガラスクロスなどを穴や亀裂面の上に張り、その上に混合したものを塗ります。この場合、塗布する厚さは 6m/m以上とし、さらに亀裂や穴の周囲より 13m/m位まで塗ります。

取り扱い上の注意

- ◎ 作業場の換気に充分ご注意ください。
- ◎ 手や肌についた時には、すぐ石けんで洗いとって下さい。
- ◎ 特にアレルギー症や過敏症の方は直接手で触れないこと。
- ◎ 使用後硬化剤のフタはしっかり密閉して下さい。

(選択用途参考)

- ・コンクリート/石材
- ・接着固定
- ・機械補修
- ・金属材料一覧
- ・ボルト穴、ネジの補修、タップ穴の再加工
- ・パイプ補修とライニング

- ・封止(電気)
- ・ポンプ補修/水
- ・タンクのライニング
- ・タンクの補修

酸	酢酸(希釈)10%	不可
	酢酸(冷却)	不可
	塩酸10%	可
	塩酸36%	不可
	硫酸10%	可
	硫酸50%	不可
	硝酸10%	可
	硝酸50%	不可
	リン酸10%	可
	リン酸50%	不可
	アルコール	メタノール
イソプロパノール		不可
ケトン	アセトン	不可
	メチルエチルケトン	不可
アルカリ	硫酸ナトリウム20%	良
	硫酸カリウム20%	良
	硫酸カリウム40%	良
	水酸化ナトリウム10%	良
	水酸化ナトリウム20%	良

炭化水素	ベンゼン	良
	ガソリン(無鉛)	良
	ミネラルスピリッツ	良
	灯油	良
	トルエン	可
	キシレン	可
	塩酸炭化水素	4塩化炭素
塩化メチレン		不可
過塩化エチレン		可
1,1,1-トリクロロエタン		可
塩	硫酸アルミニウム10%	良
	炭酸ナトリウム10%	良
	第3リン酸ソーダー10%	良
	食塩水	良
その他	カuttingオイル	良
	ビール	可
	ワイン	可
	コーンオイル	良
	苛性ソーダ	良

	品番	用途	タイプ	カラー	可使用時間	塗膜硬化時間	耐熱温度	外観(25℃)
デブコン A	EA934DF-2A	金属全般、木材、コンクリート、	鉄粉タイプ	濃灰色	45分/25℃	16時間	120℃	パテ
デブコン SF	EA934DF-1A	金属全般、木材、コンクリート、	鉄粉タイプ	濃灰色	3~5分/25℃	1時間	90℃	パテ
デブコン AQ	EA934DF-3	金属全般、木材、コンクリート、	鉄粉タイプ	濃灰色	7~8分/25℃	4時間	100℃	パテ
デブコン B	EA934DP-1A	金属全般、木材、コンクリート、石材	鉄粉タイプ	濃灰色	45分/25℃	16時間	120℃	液
デブコン F	EA934DC-1A	金属全般、木材、コンクリート、石材	アルミ粉タイプ	薄灰色	60分/25℃	16時間	120℃	パテ
デブコン F2	EA934DM-20A	金属全般、木材、コンクリート、石材	アルミ粉タイプ	薄灰色	75分/25℃	16時間	120℃	液
デブコン ST	EA934DB-1	金属全般、木材、コンクリート、石材	ステンレス粉タイプ	薄灰色	60分/25℃	16時間	120℃	パテ
デブコン WR	EA934DF-5	金属全般、木材、コンクリート、石材	アルミナ粉タイプ	濃灰色	50分/25℃	16時間	120℃	液
デブコン WR2	EA934DF-6A	金属全般、木材、コンクリート、石材	アルミナ粉タイプ	濃灰色	50分/25℃	16時間	120℃	パテ

優れた特長 1

**火を使わず
金属の接合や
穴埋めができる。**

デブコン製品は、火の使えない場所や火(溶接等)によって補修部分以外に影響を与える二次的問題が発生するような時、また作業性の悪い条件下にも安心して使用できます。

優れた特長 2

**特別な技能や
テクニックがいらず、
簡単に配合できる。**

**主剤と硬化剤を
正確に混合**

デブコンの主剤と硬化剤を使用説明書の混合比率に従って正確に秤で計量して、十分に混合、攪拌して下さい。混ぜ残しのないように主剤と硬化剤が均一になるまで十分に混合して下さい。また冬期など低温下では固くなって混ぜにくくなります。その時は使用前に主剤を暖めておいて下さい。(目安20~25℃)

優れた特長 3

**常備しておけば、
緊急時に
すぐ使える。**

デブコン製品は、治工具や補修剤においてあらゆる産業界のリーダーとして努力しております。デブコン製品を常備しておく事で油漏れや水漏れなど緊急時の補修に役立ちます。

1 下地処理



① 塗布する表面をきれいにする

デブコンを塗布する表面は全て乾燥させ、きれいに汚れを落とす必要があります。塗装、錆、メッキなどは研磨用ブラスト、その他機械工具を用いて除去して下さい。しかし、「ざらつき」があることが大切です。

※補修している間、その表面に流れ出ている液体は全て止めなければなりません。



② ケレン処理 (粗めのざらつきをつける)

ショット・ブラスト又は目の粗い研磨工具(粒砂5号、ヤスリ、#40サンドペーパーなど)でケレン処理(粗めのざらつきをつける)を行います。ケレン処理後、速やかに脱脂処理を行って下さい。※錆の発生や酸化をさけるために出来る限り早く補修作業に移って下さい。

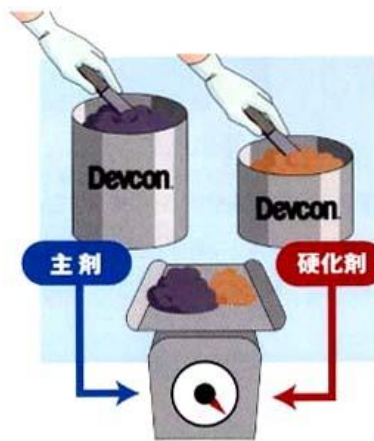


③ 脱脂処理

油やその他異物はたいてい表面下に染み込んでいるので、アセトン、MEK(メチル・エチル・ケトン)、など揮発性の高い溶剤を用いて脱脂処理を行って下さい。

※ガソリン、ラッカーシンナー、ベンジンなどは使用しないで下さい。それらは完全に揮発せず不揮発成分が残って薄い膜を形成し、接着を阻止してしまうからです。

2 混合



主剤と硬化剤を混合

デブコンの主剤と硬化剤を使用説明書の混合比率に従って正確に秤で計量して、十分に混合、攪拌して下さい。湿せ残しのないように主剤と硬化剤が均一になるまで十分に混合して下さい。また冬期など低温下では固くなって混ぜにくくなります。その時は使用前に主剤を暖めておいて下さい。(目安20℃~25℃)

※説明書には容積比が表示してありますが、これは計量誤差が生じやすいため、なるべく秤を用い重量比で計算して下さい。

3 硬化



硬化時間とその目安

デブコンは、温度が高いと硬化が早くなり、低いと遅くなります。また、厚く塗ると硬化が早くなり、薄く塗ると遅くなります。この性質を知っていると、早く硬化させたい時には、加熱すればよいのだと判ります。下記はその目安です。デブコン製品のほとんどは、主剤と硬化剤を混合することによって、化学反応で硬化します。

16時間のデブコン	70℃程度	3~4時間加熱します。
4時間のデブコン	70℃程度	1~2時間加熱します。
1~2時間のデブコン	70℃程度	15~30分間加熱します。
HRスーパー-3000	100℃程度	30分~1時間加熱します。